

商学部 AI・データサイエンス教育プログラム（ビジネス応用基礎）自己点検・評価報告

商学部 AI・データサイエンス教育プログラム運営委員会

2023.2.28

1. 自己点検・評価の実施

「商学部 AI・データサイエンス教育プログラム（ビジネス応用基礎）」について、2022 年度より、応用基礎レベルとして実施している。商学部 AI・データサイエンス教育プログラム運営委員会は、2022 年度の履修状況を参考に、履修者数向上に向けた計画、学生への周知方法、授業運営上の工夫等について種々意見交換を行い、自己点検・評価を実施した。

【商学部 AI・データサイエンス教育プログラム運営委員会の開催状況】

日時：2023 年 2 月 14 日（火）15：30～16：30

場所：関西大学千里山キャンパス第 2 学舎第 1 号館商学部長室及び Zoom による遠隔会議

出席者：矢田、高井、村上、李、藤井（教務）、石田（オブザーバー）

2. 評価の基準について

下記の 3 段階で評価する。

A：取り組みの内容に特筆すべき点があり、十分に実施できている

B：問題なく運営されている

C：取り組みの内容について改善の必要が認められる

3. 自己点検・評価の結果について

今年度の履修状況等を確認し、当委員会委員による意見交換の結果、下記の評価に至った。

【評価結果】 B：問題なく運営されている

意見交換においては、「すでに実施しているデータサイエンスプログラムを担当する教員の授業科目を広く当プログラムに組み入れてはどうか」、「当プログラムを担当する教員を増やすことで、プログラムを充実させてはどうか」、「当委員会を構成する委員の意見交換をスムーズにすることもプログラムの充実に資するのではないか」といった意見が委員からあった。次年度のプログラム実施においては、これらの意見を踏まえて、内容を改善することとした。

4. 改善・進化に向けた対応について

2022 年度のプログラム修了者数は 2 名であった。2022 年度のプログラムは、経営情報論（2 単位）、データ・マイニング論または統計解析演習（いずれかの科目を履修することで 2 単位）、マーケティング・サイエンスまたはマーケティング・リサーチ（いずれかの科目を履修することで 2 単位）による計 6 単位の授業科目の履修によって、プログラムを修了する構成であった。

2023 年度に向けて、より一層の履修者数の増加を図るためには、プログラム修了の要件となる履修授業科目数を減らすことでプログラム参加へのハードルを下げ一方、プログラム対象科目を拡充することによってプログラム参加の幅を広げることが有効ではないかとの意見があった。

当委員会におけるこのような意見を受けて、2023 年度には、プログラムを構成する授業科目を見直し、最低 2 科目の履修によってプログラムを修了できるように変更するとともに、プログラムの対象となる科目を拡充することを予定している。

学生への周知方法については、ホームページや履修案内等による周知に加えて、新入生指導行事や各種の履修登録指導等のあらゆる機会をとらえて、積極的に情報を発信していくこととしている。

以上